

医学部アドミッションポリシー

医学科

◇入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学、医療の専門知識と技能に対する関心、生涯にわたりそれを学び続ける意欲、そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として、また、医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科、数学、英語、国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために必要となる、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を習得していることが期待されます。英語では、英文教科書や学術論文の読解や論述、国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では、事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し、表現したり、他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

◇選抜方法の趣旨

○一般入試

＊前期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。国語の基礎学力は、考えを論理的に展開したり文章にまとめたり、適切に表現するために必要となります。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを個別学力検査等で評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。個別学力検査等の数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。個別学力検査等の英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

* 後期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、地理歴史・公民の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。特に、理科、数学、英語の基礎学力を重視します。個別学力検査等の小論文では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

○特別選抜

* 大学入試センター試験を課する推薦入試（推薦Ⅱ）

大学入試センター試験により、理科、数学、英語の3教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。個別学力検査等の小論文では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、志望理由書、推薦書、調査書をもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価します。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。

* 私費外国人留学生入試

数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価します。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。

○編入学

* 2 年次編入学試験

自然科学総合問題の学力試験により、物理、化学、生物を基礎とした幅広い自然科学系の知識（大学の教養教育修了程度）を修得していることを評価します。TOEIC（Test of English for International Communication）の得点により、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、自己推薦書及び研究課題・論文リストをもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理性・社会的責任とともに自然科学に関する知識と技能を評価します。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。